

令和8年度
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験
【一般】

日 本 文 学 専 攻
外 国 語 科 目 試 験 問 題

【英語】

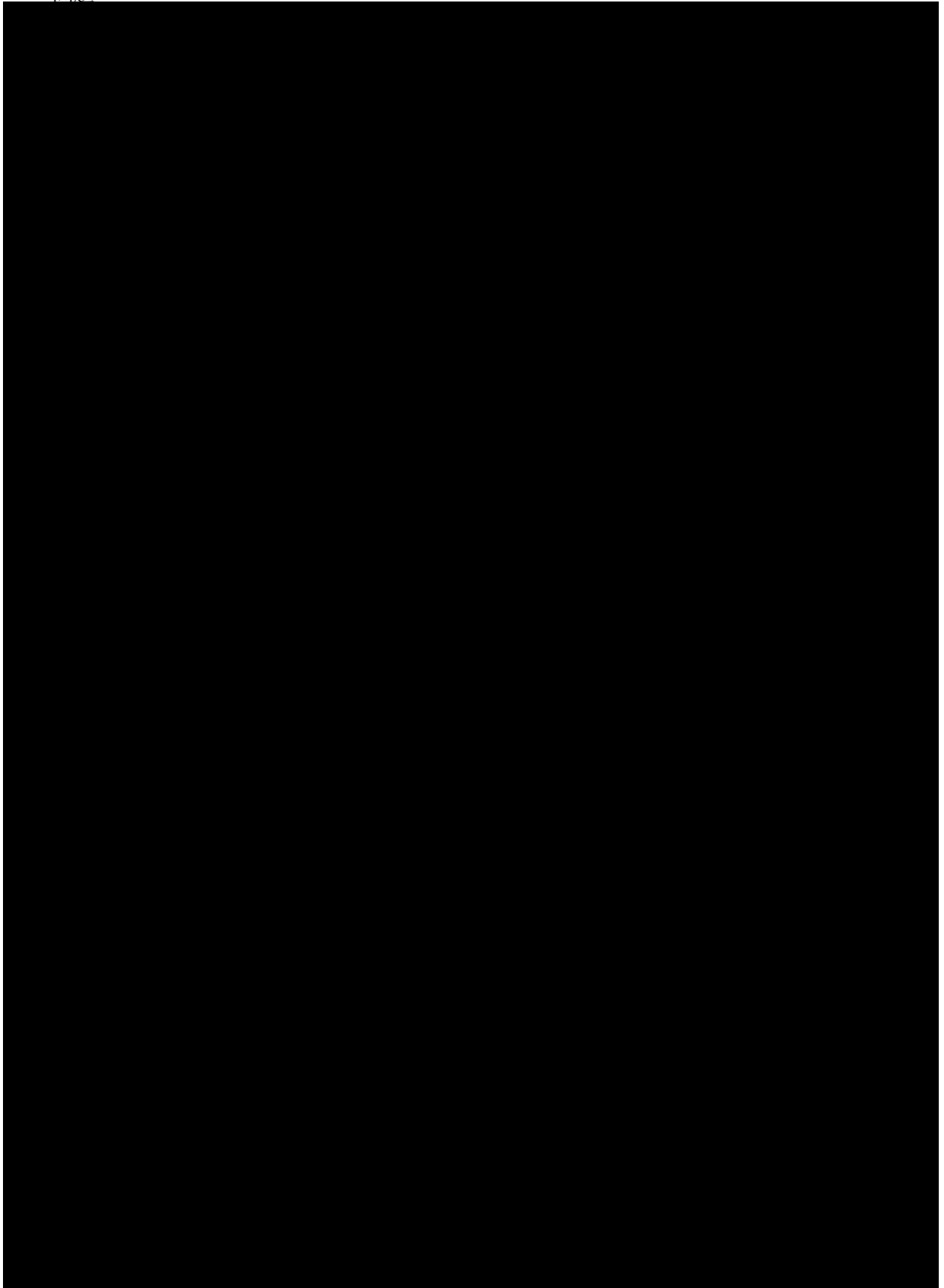
試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答はじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机の上には、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込みを許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和8年2月21日実施

著作権の関係から問題については非公開とします。

問題



(Suzuki, Daisetz T. “Zen and Japanese Culture”, Princeton Classics Book, Princeton University Press.)

- (1) 冒頭から***の箇所までの英文を和訳せよ。
- (2) この文章において著者が述べている「禅と日本文化」の独自性について、中国やインドの文化・道教などと比較しつつ、250字～400字程度で述べよ。

【出題意図】

問 1

本文の論旨の理解と、的確に要点をまとめられる語学力を問う。背景として、日本や中国の、東洋文化圏への素養と理解も問うことで、受験者の語学力と素養を判別し判定できる出題意図がある。

問 2

問 1 で前半部の精読ができているのかを問うた上で、この問二では、全体把握力、おおまかな構成と相対的な論旨の把握の度合いをとらえ返す狙いのある出題である。東洋文化全般に対する理解と、歴史的な背景への素養もからんでくるので、語学力とあいまって基礎的な教養を判別する出題意図がある。